

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあゆむ あゆむZIBUNLABO		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 12名
○従業員評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 1月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「行きたい時に行ける。」「この場所なら行ける。」など、 子ども達の気持ちに合わせた利用ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも来てよい雰囲気作りに心がけている。</li> <li>いつも笑顔を忘れず対応することを心がけている。</li> <li>子ども達と一緒に活動を行い、達成感や満足感が味わえるような対応を心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しい雰囲気作りを継続する。</li> <li>子ども達の気持ちに寄り添った会話を心がける。</li> <li>子ども達やスタッフと一緒にゲームや外遊び等の活動を実施する。</li> </ul>
2	専門職の配置により学習の支援や遊びを通して、体を使った 運動や本人の気持ちに寄り添った支援ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に到着した際、当日の予定を一緒に確認する。</li> <li>声かけを行い、学習プリントを活用したり、遊びながら九九の暗記を行ったりするなど、子ども達の気持ちに合わせて継続した支援ができるよう心がけている。</li> <li>縄跳びや散歩、鬼ごっこなど体を動かした活動を取り入れるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や体を動かすことを意識した支援を継続をする。</li> <li>子ども達一人ひとりの能力を把握し、現状にあった支援を実施する。</li> <li>支援後の情報共有を確実にを行う。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を作ったり、ホームページなどを活用し 活動の様子を家族へ発信していきたい。	保護者同士の交流の場を作ることができず現在まで実施できていない。	令和8年度実施に向け準備を行っていく。
2	外部の第三者評価を実施していない。	要項を作成する。	令和8年度実施に向け準備を行っていく。
3			

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	放課後等デイサービスあゆむ あゆむZIBUNLABO	公表日	令和8年2月13日	
		利用児童数	18名	回収数
				12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	9	2	1		・人数が多くなるほど、今の場所は狭すぎると感じた。	
	2	7	3	1	1		
	3	7	2		3		
	4	10	1		1	・いつも綺麗で親としても嬉しいです。	・今後も清潔・安全を意識しながら環境作りに取り組んでいきたいと思います。
適切な支援の提供	5	9	2	1			
	6	9	2		1		
	7	12					
	8	9	3				
	9	9	1		2	・実際に見ていないので分からない。	・支援内容と結果についてご家族様へお伝えできる方法を検討していきます。
	10	5	4		3		
	11	2	4	2	4	・夏休み、冬休み、春休みに色々な場所(くるんなどに行けているので良い。)	・公共の施設や交通機関を利用するなどの支援を行いながら。地域の方とも交流できる機会を作っていきたいと思います。
保護者への説明等	12	10	1		1		
	13	11			1		
	14	2	4	1	5	・悩みなど聞いてもらって助かっています。	・情報交換会など開催していなかったため、今後検討していきます。
	15	10	1		1		
	16	9	1	1	1		
	17	9	1	2		・前は違った。これからそうなって欲しい。 ・あゆむ清水町よりずっと利用していて職員の方と仲良くさせてもらって良い。	・今後もご家族様と情報共有を行いながら支援に当たっていききたいと思います。
	18	1	5	2	4	・コロナより他の利用してる方、子供と親と会わないので分からない。	・情報交換会など開催していなかったため、今後検討していきます。
	19	8	1	1	2	・周知されているとは感じない。	・今後どのように対応して行くか検討していきます。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	5		2	・ラボはHPで子供たちの様子見れないのは残念です。子供たちに配慮しているのはわかりますが。 ・活動や行事のお知らせプリントは頂いています。 HPは最近アクセスして見る事がありません。	・今後どのように対応して行くか検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9		1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	5	・あゆむ清水町のHPで見えています。	・今後どのように対応して行くか検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		5		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	3		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1			・職員の方々が皆優しく、安心していきます。	・今後も支援の在り方について職員間で情報共有や検討を行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	3		1	・行きたくないという時もある。 ・色々な事ができるので2人共楽しい～と言っています。	・今後も支援の在り方について職員間で情報共有や検討を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	3			・すごく満足しています。	・今後も支援の在り方について職員間で情報共有や検討を行っていきます。
その他のご意見						ご意見を踏まえた対応		
<p>①支援について事業所の方から提案や意見があるとありがたい。</p> <p>②本人の話を深く聞き、気持ちを言語化する手伝いをしてほしい。</p> <p>③定期的に通所していない利用者へのフォロー体制について確認したい。本人、保護者宛のフォローTMや状況確認してほしい。そのことがきっかけで行ってみようかと考えることに繋がると思います。</p> <p>④宿題もすぐくていねいに教えてくださってありがとうございます。これからもよろしくお願いします。</p> <p>⑤姉妹で利用しているのでお手数かけてる事たくさんありますが、2人共ラボで楽しくしているので感謝してます。</p>						<p>①：ご家族様と支援方法についてお話をする機会を作りたいと思います。</p> <p>②：気持ちの代弁や、語彙力が上がるような支援方法を職員間で研修など行い対応して行きたいと思います。</p> <p>③：相談支援事業所と連携を図りながら対応して行きたいと思います。</p> <p>④⑤：ありがたく思います。お気づきの点がありましたら教えていただきたいです。</p>		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスあゆむ あゆむZIBUNLABO		公表日		令和 8年 2月 13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・日により職員が不足していると感じるときもあるが、その際は声を掛け合いながら支援を行っている。	・実際の社会的ニーズと定員が合わなくなってきている現状もある。(受け入れができていない) どのような支援方法で利用児とかわかっていくか職員間で検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、こどもの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・毎日室内の清掃やテーブル等手に触れる場所のアルコール消毒の実施。また、月初めに事業所内外の安全点検を行い、危険箇所がないか職員全員で確認している。 ・窓が少ないため喚起の点で課題はあるが、開く窓を利用し喚起を行うようにしている。	・ワンルームが良いと場合と区切られた空間が求められる場合(学習やクールダウン)があると思われる。その際はパーテーション等を使用しながら個別の空間を作り対応していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・ワンフロアであり、パーテーションなどを利用しながら、個別の活動に集中して取り組むことができるよう環境を作っている。	・発達段階や特性に合わせて活動できる仕切られたスペースが必要と思う。そのため、パーテーション等を使用しながら集中して活動に取り組むことができるよう環境を作っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	職員は前向きに子供たちの支援を考え実践している。 ・毎月職員会議を開催し職員からの意見を確認している。	・今後も継続するとともに、報・連・相をしっかりと行い支援に当たってきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・年に1度評価表を用いてご家族の意向を把握している。また、送迎や来所の際など話す機会を作るよう心がけている。	・デジタルデバイスを使用し評価を行い業務改善に一層繋ぎたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎月職員会議を開催し、職員の意見(支援方法や業務内容など)を聞く機会を作り業務改善につなげている。	・デジタルデバイスを使用し評価を行い業務改善に一層繋ぎたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部研修への参加や法人内で講師を招き研修会を開催した。法定研修に関しては、伝達研修を行い、職員全員に周知するようにしている。	・工夫して行っていることを今後も継続しスキルアップへとつなげて行きたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6	1	・職員は前向きに子供たちの支援を考え実践している。 ・職員会議や担当者会議で情報共有を行い、個々の課題の分析、支援の方向性について話し合っている。	・工夫して行っていることを今後も継続しスキルアップへとつなげて行きたい。	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・職員は前向きに子供たちの支援を考え実践している。 ・職員会議や担当者会議で情報共有を行い、個々の課題の分析、支援の方向性について話し合っている。	・工夫して行っていることを今後も継続しスキルアップへとつなげて行きたい。	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・常に確認できるようファイルに綴じ、事務所内に置いている。	・日々の支援に追われ、検討・確認したいことができないことも多い。(難しい)	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2			

適切な支援の提供	16	個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動内容の立案をチームで行っているか。	6	1	・職員会議や担当者会議で情報共有を行い、個々の課題の分析、支援の方向性について話し合っている。	・工夫して行っていることを今後も継続し、チームでかかわっていききたい。
	18	活動内容が固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・日々職員は工夫し対応している。	・利用児によってルーティンがある為、活動内容が固定しがちになる場合もある。他の活動に少しでも興味をもてるような支援のあり方を検討していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝のミーティング時に確認している。	・今後も継続するとともに、報・連・相をしっかりと行い、事故などないよう支援に当たっていききたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・送迎の関係でその時間に行えない時もあるが、支援終了後以外の時間を利用したりしている。	・それを行うとなると勤務時間外になってしまう日もある。その日のうちに振り返りを行うことを意識していくが、当日が難しい場合には翌日に実施するなど振り返る時間を設け対応して行く。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎日支援記録を作成し、毎月の職員会議でケース検討会を行い、支援方法について確認をしている。	・今後も継続するとともに、報・連・相をしっかりと行い、事故などないよう支援に当たっていききたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1	・利用児がやりたい活動から、成功体験へとつながるような支援を心がけている。	・地域との交流が持てていないため、少しずつ地域の催し物などへ参加していききたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	・自分の意思を伝えたり自分で選択したりできるように声がけに気を付け対応している。	・発達段階や特性に応じて取り組む必要があると思う。特に不登校の子供たちに必要だと考えるため今後も継続した対応行っていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・ケース会議等へ積極的に参加している。	・医療、教育、福祉と連携を取りながら利用児への支援を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校側より下校時刻の一覧を頂き、変更があった際は電話等で連絡をいただいたりしている。	・今後も継続するとともに、報・連・相をしっかりと行い、事故などないよう支援に当たっていききたい。
	29	就学前に利用していた保育所・保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		・開所してから対象となる利用児はいないため、今後そのような場合はスムーズに行えるよう準備していききたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブ等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎や来所した際に利用中の様子など伝えられている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・ご家族との面談の際に意向など確認している。 こどもの意思に関しては、何気ない会話の中や関わりの中からも取り取るようにしている。	・こどもによってはこどもの意思というところをもっとアセスメントしなければいけないのではないかと考える。自分の意思をなかなか伝えられずにいるこどももいる為確認方法については今後検討していく。
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		・現在の所実施できていない為、今後会の開催ができるよう準備をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	・マニュアルを作成しておりいつでも閲覧できる場所に置いている。利用開始時にはご家族へは気になることがあればいつでも話していただきたいことを伝えている。	・お話を頂いた際には真摯に受け止め対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・学校が長期休業の際、事業所での活動内容について書面でお知らせをしている。また、緊急時の連絡体制についてはメールにてご家族へ発信できるシステムを作った。	・HPなどでの通信発行はしていないため、今後検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待したり地域行事に参加したりする等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・防災訓練で外部より指導員を依頼し、講習を行ったり、職員会議の中で感染症について研修会を行ったりした。	・今後もマニュアルを確認しながら訓練の実施を行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・業務継続計画は策定している。 ・避難訓練を利用児と職員とで行った。利用児からも感想を聞くなどみんなで災害を意識した訓練を行うことができた。	・今後も定期的な訓練を継続し必要物品など確認しながら、災害発生時に備えていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・利用開始時に聞き取りをしたり、利用時に服薬の指示がある際には「内服薬連絡票」を用いて持参していただいたりしている。	・今後も家族からの聞き取りなど行い、利用児が安全に活動できるようにしていきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・家族より情報をいただいている。	・今後も家族からの聞き取りなど行い、利用児が安全に活動できるようにしていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・職員と利用児が参加しての訓練を行った。 また、散歩などで出かけた際に危険箇所や避難場所を確認しながら出かけた。	・今後も定期的な訓練を継続し必要物品など確認しながら、災害発生時に備えていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・家族に周知していないため、どのように対応して行くか検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・毎月職員会議を開催し、自分たちの支援の在り方について意見交換や情報共有を行っている。	・今後も継続し、風通しの良い職場となるようこころがけるとともに、利用児が主体となる支援ができるよう職員間で意見交換を行っていききたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	2	・現在のところそのような場面はない。	・毎月職員会議を開催し、身体拘束に関する認識を共有し、支援の在り方について今後も意見交換や情報共有を行っていききたい。